

首都直下地震からの 東京の復興課題とそのあり方

日時 | 2015年9月27日(日)
13:30～16:50 (開場 13:00)

会場 | 専修大学 1号館 3階302
専修大学神田キャンパス
(東京都千代田区神田神保町3-8)



会場案内図

時代とともに復興課題、復興のあるべき方向性は変わる。次の時代は、人口減少、社会の超高齢化、グローバル化が更に展開し、帝都復興や戦災復興は言うに及ばず、20年前の阪神・淡路大震災とも異なるものとなると考えられる。さらに首都直下地震の場合、東京という都市の「特殊性」が復興に大きな影響を与えるであろう。首都直下地震からの東京の復興は、未知、未経験のものとなりえる。

本シンポジウムでは、阪神・淡路大震災の復興経験に裏付けられた提言と絡ませながら、来る首都直下地震からの首都東京の復興の課題とそのあり方について考える。復興に不可欠な4次元、すなわち、基盤復興・経済復興・社会復興・生活復興に焦点をあて、第1部では、基調講演と論点提示を行い、第2部では、次の震災に備え「東京の復興を考える」と題して会場参加型で議論を深める。

なお、本シンポジウムは、日本災害復興学会2015年大会・特別セッション「阪神・淡路大震災20年の経験をふまえた未来の災害復興への提言」（裏面参照）との連続企画である。

第1部 13:30～15:00 基調講演と論点提示

「災害復興の4次元のバランス」

第2部 15:20～16:50 パネルディスカッション

「東京の復興を考える」

第1部と第2部の詳細プログラムは裏面をご覧ください。

事前申し込み不要・入場無料

問い合わせ先 e-mail:office@f-gakkai.net

第1部 13:30～15:00 基調講演と論点提示

【基調講演】次の大都市震災で不可欠な『災害復興の4次元のバランス』
中林 一樹（明治大学政治経済学研究科／日本災害復興学会会長）

【論点提示】

基盤復興：首都直下地震からの復興における基盤復興とは
藤塚 仁（(公財)都市計画協会／元東京都）

経済復興：地域の産業復興と個々の企業のBCP
丸谷 浩明（東北大学災害科学国際研究所／法学研究科公共政策大学院）
（NPO法人 事業継続推進機構 副理事長）

社会復興：大都市の災害復興における地域コミュニティの役割
大矢根 淳（専修大学社会科学研究所／人間科学部）

生活復興：大都市における住まいの住宅確保シナリオ
佐藤 慶一（専修大学社会科学研究所／ネットワーク情報学部）

第2部 15:20～16:50 パネルディスカッション 「東京の復興を考える」

コーディネーター：加藤孝明（東京大学生産技術研究所）

阪神・淡路大震災からの報告「阪神・淡路大震災の経験を未来に向けて」
磯辺 康子（神戸新聞報道部）

論点整理「時代の変化と東京復興の論点」
加藤 孝明（同上）

パネリスト 第1部講演者 ※PDは会場参加型で進めます。

総括コメント 室崎 益輝（ひょうご震災記念21世紀研究機構／前・日本災害復興学会会長）

同日開催：日本災害復興学会大会 特別セッション

阪神・淡路大震災20年の経験をふまえた未来の災害復興への提言

日時：2015年9月27日(日) 9:30～11:30

場所：専修大学神田キャンパス 1号館 3階302

（事前申し込み不要・参加費無料、非会員でも参加できます）

阪神・淡路大震災当時、当事者として震災復興に取り組んだ方々を迎え、未来の災害復興に向けて語っていただきます。※本企画は、公開シンポジウムとの連続企画です。

コーディネーター：磯辺康子（神戸新聞報道部）

パネリスト：□室崎益輝（ひょうご震災記念21世紀研究機構）

□村井雅清（被災地NGO協働センター／前・日本災害復興学会副会長）

□山中茂樹（関西学院大学災害復興制度研究所／日本災害復興学会特別顧問）

□遠藤勝裕（元・日本銀行神戸支店長／日本学生支援機構）